

ノヤマ通信

vol.45 (2026.皐月)



森のようちえんヒュッテ

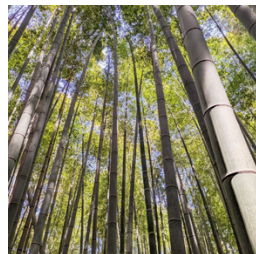
【4月の活動記録：9日山の基地、16日タケノコ掘り、23日山の基地、30日米博の裏山】

●活動を見つめるコラム

「緑色の世界」

新緑がまぶしい季節になりました！山はいろいろな緑色に彩られ、木陰は涼しく、外遊びがしやすい時期でもあります😊。

今年のタケノコ掘りの日は、とてもよいお天気でした。竹林に入ると、やさしい緑色の光に包まれるというか、きれいな緑色の世界が広がっていて、なんだかとても気持ちよかったです（←表現力のなさがもどかしい…🌀）。この印象はどこからくるのだろうか？と調べてみたところ、一応理由があるようです。



そもそも自然光は、大きく分けると赤（R）、緑（G）、青（B）の3色の光が混ざり合っていてできていると言われています（光の三原色というやつです）👓。このうち赤と青の光は、植物の葉に含まれる葉緑素に吸収され、光合成に使われます。一方で、緑の光は吸収されにくく、反射したり葉を通り抜けたりします。そのため、植物は緑色に見えるのだそうです🌿。たくさんの葉が重なり合った竹林では、赤や青の光がしっかり吸収され、緑の光が差し込みます。さらに竹は、幹（稈「かん」）の部分にも葉緑素が含まれていて、緑色の光を反射します。もう、あっちからもこっちからも緑色の反射がものすごいわけです。そりゃ、緑色に見えるわけだ〜👀！

今は生活の中で竹を利用することが減ったため、管理が十分に行われず、荒れてしまった竹林も多くなりました。放置された竹林はうっそうとし、イノシシなどのすみかになったり、土砂災害のリスクが高まったり、隣接する農地に竹が侵入したり、といった問題があります。タケノコをしっかりと採って食べたり、竹を材料として利用したりすることが、きれいな緑色の世界を守ることにつながるのです。

私たちも、材料としてもっと竹を使ったりしながら、地域のきれいな竹林を守っていききたいな〜と考えています。（ゆ）



▲4/30森のようちえん@米博の裏山

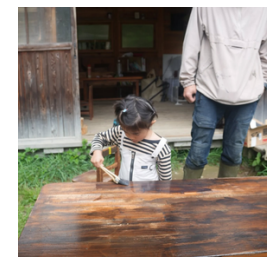
👤👤 山の基地

【4月の活動記録：11日、29日…開放日、20日…やまびこDAY、8日、27日…日常管理】

●今年度から、山の基地で「やまびこDAY」という活動日を設けることにしました。ひとこと言うと、山の基地をもっと豊かでおもしろい場所にしていくために、フィールドの手入れやいろんな試みをしてみる日です。

山で体を動かして作業することで、それぞれに何か返ってくる（得るものがある）はず。そんな思いを込めて、「やまびこ」と名付けました。

初回は、小屋のテーブルのニス塗りやウッドデッキの掃除、畑の草取りなど。お弁当を食べながら、「こんな場所になったらいいな」「こんなことをやりたいね」と、ゆっくり話す時間もありました。



次回のやまびこDAY
5/25 10:00~

●開放日は、いずれも天気に恵まれ、大勢の子どもたちが山に遊びに来てくれました。29日は、アーシングヨガのイベントが行われました。



●ビオトープには、ヤマアカガエルのオタマジャクシのほかにも、トンボのヤゴやアカハライモリ、トノサマガエルなどの姿が。少しずつ生き物が増えている感じです。



✿✿ その他の活動

●フリーマガジン『だいちのめ』の発行

私たちが企画・編集を請け負っている四国西予ジオパークのフリーマガジン『だいちのめ』の第9号が発行されました。



今回の特集テーマは「水と生きる」。西予市を流れる一級河川・肱川。その「源流」があるこの地で、私たちは日々、水の恩恵を受けて暮らしています。

山に降った雨が土に染み込み、川となって田畑を潤し、やがて海へと注ぐ。川の水はどこから流れ、どこへ向かうのか。私たちの暮らしと水は、どのようにつながっているのか。

源流を守るエコ活動、伝統の酒造り、そしてツルやコウノトリが舞う里山づくり—水の循環とともに歩む人々の声を通して、当たり前の日常をあらためて見つめ直しました。

●風力発電所の計画中止が決定 (4/23)

山の基地を含むエリアで計画されていた、風力発電所の建設について、事業者が事業の断念をした、という報告が地域の関係者からありました。

再生可能エネルギーの導入は必要だけれど、どんな場所に発電所を作るのがよいかという議論はきちんと行うべき、という考えのもと、声を挙げていた住民の活動が実った形となりました。署名にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました 🙏!

●近所の山の見学 (4/24)

お友達の案内で、宇和町稲生の山を見てきました。かつては、ブドウ畑として使われていた土地ですが、今は使っていないので、良ければ子どもたちと遊んだりするのに使いませんか？と。



山の基地とは植生の様子が少し異なり、比較的アクセスもしやすい場所なので、利用の仕方を少し考えてみようかと思っています。

●その他、会議もろもろ

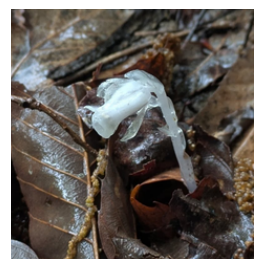
えひめ自然保育連盟のミーティングなどを行っています。

🌱 いきもの情報

活動の中で出会った生きものたちを紹介します。

●ギンリョウソウ

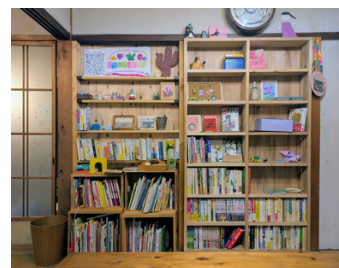
全体が白い色をした植物です。光合成で自ら栄養をつくることはせず、菌類（キノコの仲間）から栄養をもらう「腐生（ふせい）植物」と呼ばれます。（4/30米博の裏山）



👉 よもやま話

子どもたちが3人とも小学生となった4月。家の中には学校用品や学校からもらってくる書類、子どもたちの工作、そして私たちの本であふれかえっていました 😊。

生活の変化に合わせて整理整頓の仕方も見直そうと、ゴールデンウィークの連休を利用して本棚を作ることに。DIYのいいところは、手持ちの本に合わせて棚のサイズをちょうどよくアレンジできる点です 🛠️。子どもが描いた絵を飾るスペースを作ったり、あふれていた本の居場所を確保したり。まだまだ片付けたい場所はたくさんありますが、前々から気になっていたことが1つ片付き、心も少しスッキリしました。（ゆ）



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

✉️ noyama.company@gmail.com